もっと止まって！

STOP トラハラ

トラフィック 交通ハラスメント

まだまだ 全国平均以下

2人に1人は止まってくれない。

新潟県 49.0%（全国平均53.0%） 全国29位

出典：日本自動車連盟（JAF）「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」（2024年調査結果）

横断歩道は、歩行者優先。
渡りたい歩行者を渡らせない。
それ、歩行者への交通ハラスメント。違反です。

もっと！ もっと！

新潟県交通ハラスメント STOPキャラクター STOP! トラハラくん

「急がずに 暑い夏こそ ゆずり愛（あい）」

新潟県交通安全マスコット ルルちゃん

上越市立板倉小学校 3年 松田 寛英さん
令和6年度 新潟県JA共済小・中学生 交通安全ポスターコンクール 入賞作品

夏の交通事故防止運動

横断歩行者の交通事故防止 ～「渡るよサイン」の活用～

疲労運転の防止

飲酒運転の根絶

令和7年 7/22（火）→7/31（木）

運動の詳細はこちら

主唱／新潟県・新潟県警察・新潟県交通安全対策連絡協議会
協力／（公財）新潟県交通安全協会・（一社）新潟県安全運転管理者協会

もっと止まって!
STOP トラハラ
トラフィック 交通ハラスメント

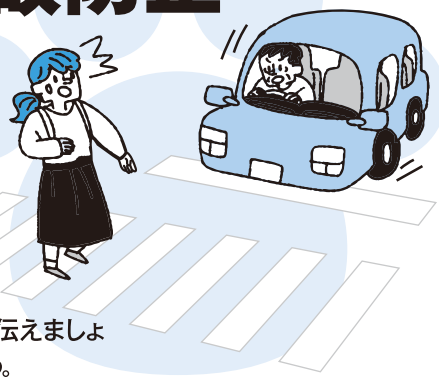
「急がずに 暑い夏こそ ゆずり愛(あい)」

夏の交通事故防止運動

令和7年 7/22(火)→7/31(木)

1 横断歩行者の交通事故防止

～「渡るよサイン」の活用～



横断歩道では歩行者が最優先です

横断歩道を渡っている、または渡ろうとする歩行者がいた場合、ドライバーは一時停止をしなければなりません。また、明らかに横断する人がいない場合のほかは、横断歩道の手前で停止できる速度で運転しなければなりません。

歩行者も要注意、横断時は「渡るよサイン」の活用!

歩行者は、手をあげる、目で合図を送るなど、「渡るよサイン」で周囲に横断意思を伝えましょう。さらに、横断前の左右確認、横断中も車が近づいて来ていないかを確認しましょう。

2 疲労運転の防止

夏季の運転はこまめに休憩を!

暑い屋外と冷房の効いた室内との寒暖差が、疲労を蓄積させ集中力や注意力を低下させます。それは漫然運転や居眠り運転につながり、交通事故の原因となるおそれがあります。無理のない運転計画を立てるとともに、こまめに休憩をとりましょう。

「あくび」は休憩のサイン

運転中、あくびが出ることがあります。それは脳や体が疲れている一つのサインです。休憩をとるきっかけにしましょう。

3 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です!

飲酒運転の危険性や違法性を、多くの人が認識しているにも関わらず、未だに飲酒運転の関わる交通事故が後を絶ちません。少しの気の緩みが取り返しのつかない結果を招く。それが飲酒運転、根絶しましょう。

飲酒運転の死亡事故率 約7.4倍

飲酒の有無別による交通事故の死亡事故率を見ると、飲酒ありの場合は、飲酒なしの場合と比べて約7.4倍と極めて高く、飲酒運転による交通事故は死亡事故につながる危険性が高いことが分かります。